



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 インド
2. 出張月 平成 26 年 3 月
3. 出張目的 JIRCAS における熱帯果樹共同研究課題具体化に向けた情報収集：D

4. 成果の概要

南・東南アジアにおける熱帯果樹研究動向追加調査の一つとして、南インドのコインバトール市に本部があるタミル・ナードゥ農業大学（TNAU） Horticultural College & Research Institute, Department of Fruit Crops を訪問し、南インドの果樹栽培状況、問題点等について情報収集を行った。

タミル・ナードゥ州では多くの果樹を栽培しているが、最も重要な果樹はバナナとパパイヤであり、マンゴー等他の果樹も重要性が高い。

研究内容・課題としては、遺伝資源収集・保存、交雑育種、高密度栽植栽培、せん定による生産安定およびオフシーズン栽培、植物生長調整物質によるオフシーズン栽培、貯蔵性向上のためのプレ・ポストハーベスト技術等が挙げられ、東南アジアと共通の課題が多く見られた。また我が国同様小規模農家が多い。

このため、我が国における小規模果樹園栽培に関するこれまでの知見・経験が生かせる可能性が高い。また、タミル・ナードゥ農業大学の mission は研究、教育、普及であり、大学であるが普及のために現場にも良く足を運んでいる。

共同研究相手としても十分可能性があると考えます。